

平成28年度 第7回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成28年11月8日（火） 10時28分～12時06分

場 所 大学本部2階大会議室

出席者 学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，和田理事，佐々木監事，
田中教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，
原医学部長，石橋工学系研究科長，渡邊農学部長，山下附属病院長，
郭シンクロトン光応用研究センター長，皆本全学教育機構副機構長

欠席者 米山附属図書館長

陪席者 兒玉学長補佐，鈴木学長補佐，寺本学長補佐，渡学長補佐，
岩本学長補佐，只木学長補佐，宮脇学長補佐，吉永学長補佐，
永田海洋エネルギー研究センター長，荒木低平地沿岸海域研究
センター長，宮武地域学歴史研究センター長

○ 学長から，第3回，第4回及び第5回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

【 報告・連絡事項 】

- (1) 部局等の実行計画の進捗状況報告（1回目）について
各担当理事から，本件について，進捗状況判定の区分のうち〔Ⅰ〕実施していない，〔Ⅱ〕十分には実施していないと判定した実行計画を中心に，平成28年9月末現在の進捗状況の報告があった。
- (2) 公正な研究活動の推進に関する講演会について
門出理事から，本件について，平成28年12月12日（月）大学会館2階多目的ホールにおいて，理化学研究所 理事 有信睦弘氏を講師に招き，「公正な研究活動の推進にあたって，研究者や研究倫理教育責任者に求められること」と題した講演会を開催する旨の報告があった。
- (3) 年頭挨拶における各理事室からの課題提出及び各学部長からの説明について
総務課長から，本件について，各理事室担当課は，平成29年中に重点的に取り組む課題等を平成28年12月9日（金）までに総務課あて提出

していただきたいこと、また、全学教育機構長及び各学部長、工学系研究科長は、平成29年中に重点的に取り組む課題等をパワーポイント資料にとりまとめ、12月16日（金）までに総務課あて提出していただき、平成29年1月4日（水）の年頭挨拶で説明していただきたい旨の依頼があった。

- (4) その他
特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- (1) 活動現況等について月例報告
各学部等から報告があった。

- (2) その他

門出理事から、年度計画進捗状況報告で、教育及び研究のグローバル化について把握が不十分であったため現状では〔Ⅱ〕十分には実施していないという判定をしたが、各部局からの報告ではかなり積極的で成果も上がっているように思われるので、国際課へきちんと報告をしてほしい旨の発言があった。

【 その他 】

- (1) 平成29年度学内予算編成に向けて及び今後の推計（試算値）について
和田理事から、本件について、今後の推計（試算値）の予算総額の中で、収入である運営費交付金については毎年、機能強化係数1.2%減で試算をしていること、支出である人件費については平成28年度当初予算からの推計で試算していること、物件費については収入予算総額から人件費を差し引いた額を計上していること、また、試算値についてはあくまでもシミュレーションであり、日々変動する旨の説明があった。

また、予算編成に向けて、予算削減の方策、学部等所要経費の精査・検討については、アイデアの精査・提示をお願いしたい旨の発言があった。

学長から、今後も運営費交付金の削減は続くことから、対策として、外部資金の獲得により間接経費等オーバーヘッド経費の増額を図ること、人件費の削減方策を検討すること、全学的に科目の在り方を受講生数の実態を踏まえて見直した上で学外非常勤講師手当を縮減すること、増収策として、公開講座の有料化、共有スペースの活用による学内・学外への有償貸付、駐車場料金の値上げ等の案を拡大役員懇談会でディスカッションしており、今後精査・検討する必要があること、また、各部局においても現状を踏まえ、他にも方策があれば提示してほしい旨の発言があった。

(2) 中期目標・中期計画実施本部会議における監事からの意見について

後藤理事から、本件について、監事からの指摘事項6項目についての説明があった。

学長から、指摘事項について実際の意味合いとは違う等の意見があれば申し出てほしい旨の発言があった。

委員から、中期目標と中期計画に関して進捗状況を聞かれたときに、大学として実施するものを、そのまま部局での目標に変えてしまったため、学部として何をすればよいのかが明確になっていなかったのではないかと、いった旨の発言があり、学長から、そういった誤解もあるので、疑問等があればその都度大学運営連絡会で質問していただきたい旨の発言があった。

以 上